

南三陸で1000遺体

宮城県に土葬要望



宮城県南三陸町志津川地区の被害を見つめる男性 14日午前7時24分、矢木隆晴撮影

宮城県は14日午前の災害対策本部会議で、同県南三陸町から「遺体が1千体ぐらいある」として、土葬にしたいとの要望があったと報告した。多数の遺体が見つかった山元町からも、同じ要請があったという。

南三陸町の佐藤仁町長に13日午後に聞き取ったところ、避難所の食料や毛布、暖房器具などが不足しているという。県と同町の連絡手段がないため、職員が定期的に往復して情報収集している。